

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成27年12月24日(2015.12.24)

【公表番号】特表2015-506448(P2015-506448A)

【公表日】平成27年3月2日(2015.3.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-014

【出願番号】特願2014-554721(P2014-554721)

【国際特許分類】

F 16 B 37/04 (2006.01)

B 64 C 1/00 (2006.01)

【F I】

F 16 B 37/04 A

B 64 C 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月2日(2015.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゲージを有する二次支持構造体(240、310、610、820、900、1220)に係合するナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)を備えるアセンブリであって、

前記ナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)は、
内面がネジ切りされたボア(450、460、708、840、1140、1235)
を有するボディ(410、820、1120)と、

前記二次支持構造体(240、310、610、820、900、1220)の取付孔(310、314、316、320、620、630、732、734)に係合し、前記ナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)の前記二次支持構造体(240、310、610、820、900、1220)に沿った動きを抑制する少なくとも1つの位置決め突起部(430、440、470、702、704、706、850、1170、1312)と、を含み、

前記ナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)はさらに、前記ナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)の前記二次支持構造体(240、310、610、820、900、1220)から離れる動きを追加的に抑制するための追加抑制手段(U、860、1150、1160、1314)を含む、アセンブリ。

【請求項2】

前記二次支持構造体(240、310、610、820、900、1220)はスパナー(240、310、900)を含み；前記ナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)は取付ハードウェアを使用することなく抑制される、請求項1に記載のアセンブリ。

【請求項3】

取付ハードウェア(740、840、850、1010、1020、1030、1240、1250)は、前記ナットプレート(340、700、810、1110、1230、1310)に締結される、請求項1又は2に記載のアセンブリ。

【請求項 4】

前記取付ハードウェア(740、840、850、1010、1020、1030、1240、1250)は、ワイヤバンドル(210、220、230)又は配管(232)を支持する、請求項3に記載のアセンブリ。

【請求項 5】

前記ボディ(410、820)は前記二次支持構造体(240、310、610、820、1220)に対する取付面(420、830)を有し、前記少なくとも1つの位置決め突起部(430、440、470、702、704、706、850、1170、1312)は第1及び第2のポスト(430、440、702、704)並びに固定部材(470、706)を含み、前記第1及び第2のポスト(430、440、702、704)は前記取付面(420、830)から延在し、スパナバー(240、310)を備える前記二次支持構造体(240、310、610、820、1220)のそれぞれの取付孔(310、314、316、320、620、630、732、734)を通り、前記固定部材(470、706)は、前記ポスト(430、440、702、704)の1つとランド(310、313、315、317、330、615、625、635)との間の空間を占め、さらに前記追加抑制手段(U、1314)は各ポスト(430、440、702、704)に逃げ溝部分(U)を含む、請求項1から4のいずれか一項に記載のアセンブリ。

【請求項 6】

前記ボア(450、460、708)は、前記ボア(450、460、708)が前記二次支持構造体(240、310、610、820、1220)の前記取付孔(310、314、316、320、620、630、732、734)のうちの1つと揃うように、前記第1及び第2のポスト(430、440、702、704)からある距離だけずらされている、請求項5に記載のアセンブリ。

【請求項 7】

第1及び第2のポスト(430、440、702、704)の前記ランド(310、313、315、317、330、615、625、635)に当接している部分は中実で、断面は楕円形である、請求項5又は6に記載のアセンブリ。

【請求項 8】

前記固定部材(470、706)は弾性がありヒンジでボディ(410、820)に連結されており、これにより前記固定部材(470、706)は後退可能になっている、請求項5から7のいずれか一項に記載のアセンブリ。

【請求項 9】

前記第1及び第2のポスト(430、440、702、704)の各々は拡大されたキャップ(435、445)で終端し、前記キャップ及び前記取付面(420、830)は前記二次支持構造体(240、310、610、820、1220)のゲージよりも狭い前記逃げ溝部分(U)を形成し、前記ナットプレート(340、700、1230、1310)が押し込まれると、前記拡大されたキャップ(435、445)は前記ランド(310、313、315、317、330、615、625、635)のうちの1つに嵌り、前記二次支持構造体(240、310、610、820、1220)と係合する、請求項5から8のいずれか一項に記載のアセンブリ。

【請求項 10】

前記スパナバー(900)はリターンフランジ(902)を有し、前記追加抑制手段(U、860、870、1150、1160、1314)は、前記ボディ(820、1120)に対して片持ち支持されて前記ボディ(820、1120)から外へ向かって延在する第1及び第2の弾性フィンガータブ(860、1150)を含み、前記タブは前記リターンフランジ(902)に解放可能に係合する、請求項1から4のいずれか一項に記載のアセンブリ。

【請求項 11】

前記追加抑制手段(U、860、870、1150、1160、1314)は、前記弾

性フィンガータブ（860）から対向する前記ボディ（820）に取り付けられたバー（870）をさらに含み、前記バー（870）は前記取付面（830）を横断して延在し、前記バー（870）の対向端部は前記リターンフランジ（902）の下に配置される、請求項10に記載のアセンブリ。

【請求項12】

前記追加抑制手段（U、860、870、1150、1160、1314）は、前記ボディ（1120）に対して片持ち支持されて前記ボディ（1120）の対向側面から外へ向かって延在する第3及び第4の弾性フィンガータブ（1160）をさらに含み、前記第3及び第4の弾性フィンガータブ（1160）は前記リターンフランジ（902）に解放可能に係合する、請求項10に記載のアセンブリ。